

【『国語力』を上げるためには？】

以下の2つ力を身につける必要があります。

基礎的国語力

- ①黙読する力の育成及びスピードアップ
- ②語彙力アップ

発展的国語力（論理的思考力）

- ③国語の公式を身につける

【基礎的国語力】

●基礎的国語力はどのように発達するのか？

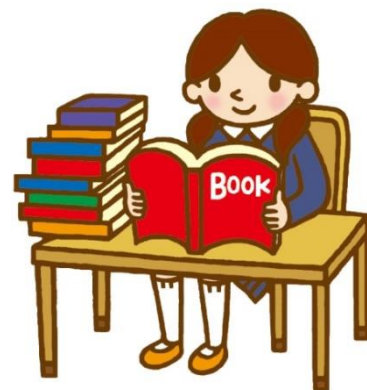
- ①小学校入学前 読み聞かせ：「音声」「絵」で理解
 - ②小学校での授業等 音読：先生の声聞きながら読む⇒声に出して読む
 - ③その後、黙読をマスター
- ※②から③への移行がスムーズにいかない場合がある。
音読は「視覚・聴覚」で本の内容を理解していくが、黙読は「視覚」のみで理解していくため。

●基礎的国語力を伸ばすためには・・・

②から③へのスムーズな移行が重要 ⇒ ペガサスでは『ことばの学校』を導入済み

●『ことばの学校』とは・・・

- ・朗読音声を聞きながら本の読書 ⇒ 無理なく黙読可
- ・お子様の基礎的国語力に合わせ、厳選した良書の読書
⇒ 無理なく黙読可
- ・朗読音声の読書後、「読書ワーク」の実施
⇒ 語彙力アップ
- ・音声は倍速変則可能の為、慣れたらスピードアップ
⇒ 黙読のスピードアップ
(文字追いでなく、単語・文節で理解)
- ・年に2回「読書指数診断」の実施 ⇒ 保護者の方も安心
(お子様の語彙数・読書速度等を数値化)



【発展的国語力（論理的思考力）】

一般的に下記のこと言われています。

【国語以外の教科】は、「公式」「法則」等が明確 ⇒ 勉強がしやすい
【国語】は、「公式」「法則」等が不明確 ⇒ 勉強がしにくい

「国語」という教科は、「公式」「法則」がないと思われているため、とても勉強がしにくく、学力・成績が上げづらい教科と考えられています。

しかし、「国語」にも「公式」があります。それは、『3つの力』と『文章の型』です。

●国語の公式『3つの力』とは…

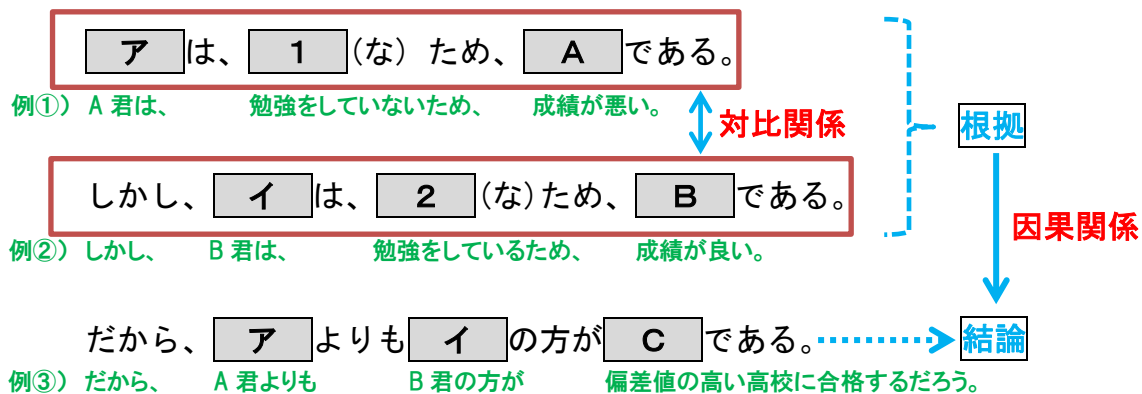
- ① **言いかえる力**：同等関係（抽象・具体の関係）を整理する力
例）読解問題で、「どういうことか」と聞かれたらこの力を使用。
- ② **くらべる力**：対比関係を整理する力
例）読解問題で、「どう違うか」と聞かれたらこの力を使用。
- ③ **たどる力**：因果関係を整理する力
例）読解問題で、「なぜか」と聞かれたらこの力を使用。

※この『3つの力』をマスターすることにより、複雑な文章を単純化することができ、問題に対して正確に解答を出すことができるようになります。

●国語の公式『文章の型』とは…

主張は「根拠⇒結論」の型で構成されています。「根拠」は常に対比関係になります。

「文章の型」



※**同等関係**は、内容を具体化・抽象化するのに不可欠。

※この『文章の型』をマスターすることにより、書く力がレベルアップでき、小論文等で自分の主張を正確に相手に伝えることができるようになります。

※以上の『3つの力』と『文章の型』をマスターすることにより、『国語力』を上げることが可能です。

※ふくしま国語塾 主宰 福嶋隆史氏著 『「本当の国語力」が驚くほど伸びる本』（大和出版）を参考にしております。